

広島 YWCA 使命

- ①憲法の謳う恒久平和実現のため、  
第九条の非武装・不戦の誓いを広げる。
  - ②被爆の実相を継承し、ヒロシマの声を発信する。
- 2015年度広島 YWCA 運動の課題
- ①憲法9条を守るための活動をする。
  - ②原子力発電を否定し、ライフスタイルを見直す。
  - ③敗戦・被爆70年にあたり、被爆証言を若い世代に届ける。

発行所：一般財団法人 広島 YWCA (仮会館) 〒732-0053 広島市東区若草町 6-7 広島主城教会気付 TEL/FAX (082)258-4878

まもなく5年  
**3.11**  
2011/3/11 東日本大震災

東日本大震災から5年目を迎える今、思うこと。

福島市内在住 K.T



福島市内で支援活動に関わっている、元広島YWCA 総幹事 前田圭子さんを通じて、K.Tさんより思いが届けられました。感謝いたします。

間もなく東日本大震災から5年。  
自宅マンションの窓から見える雄大な吾妻連峰、そして車と人々が行き交う街の景色。

今も震災前も変わらないそこにある風景。  
日々の喧騒から自分が流されそうになると、窓から外をただ眺めている。そうすると心が落ち着きました。

いつもと同じ見慣れた景色も震災後は窓から外を見るたび、何とも言い難く悲しい気持ちになりました。見た目は何も変わらないこの街。ただ変わったのは、目には見えない原発事故により大気中に放出されてしまった放射能で街が汚染されてしまったことでした。

まさか自分の住む福島市が放射能で汚染されようとは震災時、まだ思いもしませんでした。  
私の人生の中で、原発や放射能について自分の暮らしとは無縁だったし、無知でした。

5年が経とうとしている今、振り返ると一番悔やまれることは大事な息子二人を避難させることができずに放射能被曝から守れなかったことです。あの日から毎年3月11日が近づくにつれ、そして3月11日を迎えるたびに何とも言えない複雑な気持ちになります。そして、自分はよくがんばってここで暮らしてきたなという思いが沸き上るのです。

震災当時、我が子は長男が小学4年生、次男が幼稚園の年少組でした。5年目を迎える今、長男は中学3年生、次男は小学3年生になりました。

この5年間で振り返ると、とても簡単には限られた文章で思いを伝えることができません。それだけ震災後、この土地での子育ては心が乱されることの連続でした。とにかく少しでも被曝を減らしたい一心で、1年目、2年目、3年目は神経をすり減らすほど、子どもたちにも口うるさく放射能について注意をしていたように思います。そのこととでだいたい子どもたちも心が落ち着かなかったでしょう。私自身も周りの意識の高いお母さんたちとつながり、子どもたちを守るための活動をしました。食事にも気をつけました。

そんな中でつくづく感じたことは、放射能問題は極めてむずかしいこと、答えの見つからない終りのない闇との世界であることでした。だからこそ、物凄いエネルギーが必要で、考えの違う人たちとは疎遠になったりもしました。少しでも安全で安心な場所でも過ごさせたい思いから、全国の支援団体の方々から届く保護の案内にありがたき子どもを参加させていました。しかし、様々な理由から保護への参加からも遠のいていきました。回数が増えるたびに、母子で参加することで、周囲に気を使い、つながることに疲れていきました。今後は、家族だけでゆっくり過ごせるような保護があれば、とても助かります。

人はどんな環境であろうと慣れていく順応力があり、良くも悪くも忘れていくものです。福島は状況に、声を上げ続けなければいけないと思っています。しかし、年数が経つにつれ、他の地域

の同世代の人々と同様、子育てや介護など様々なことを抱え、慌ただしい生活に追われる日々です。プラスαで放射能のことでも何かをする余力がありません。少しずつ麻痺してきている5年目の今です。でも、私はそれが当然のことだと思っていないし、放射能のことばかり考えていたら、とつくに心身がもたなかつたと思います。

今、私はここで暮らすことを冷静な気持ちで受け入れていきます。それがこの時代に、ここ福島で結婚して子どもを産み育てていく自分なことです。福島で子育てをしている中で様々な批判的な意見を耳にし、気にしていましたが、今はそれも流せません。子どもたちは震災後も元気に学校に通い、たくさんさんの経験と学びの中で、生きています。まだ起らない未来を憂いて暮らすより、今を精一杯生きていきたいです。今、家族みんなが健康に暮らせていることに感謝しています。そして将来、子どもたちが自立していく中で、何が起きようとして受け入れ、強く生きていくことを願っています。

矛盾しているようですが、放射能や被曝のことは忘れてたくても、忘れられるものではありません。将来もずっと福島で暮らすかどうかともわからないし、いつも迷いの中にいます。しかし、今は生活の中で被曝を減らすことに気をつけ、ことあるごとに自分を奮い立たせ、「前を向いて生きていく」と思える自分を大切に、福島で暮らしています。

ホスピス医 川越厚さん講演会

「ひとり暮らしは明日のわが身」  
～さいごまで家で暮らすをつらぬく方法～

半井康恵 (広島YWCA会長)

2015年11月14日(土) 会場: 広島YWCA 仮会館

地域貢献事業プログラムとして行ったこの講演会には、会員以外の多くの方々を含め70人余りの参加者が集い、川越厚さんのお話に耳を傾けた。



講演の様子

病院医療の世界で大いに活躍していた川越さんは自らの大病により、病院を離れ、在宅医療に軸を転換する。そして2000年に末期がん患者の在宅ケア支援組織「パリアン」を設立する。「患者さんの人生に寄り添う医療にたどりついた。」と川越さんは述べている。

川越さんはパワーポイントを使い、差し障りのない程度で実際のケースを参考に挙げ、分かり易く、一人暮らしの場合の在宅医療を受ける具体的な方法や心構えを話された。

深刻なお話を飄々と時にはユーモアを交えて話す川越先生は在宅ホスピス医として25年、様々な死と向かい合い、燃え尽きることなく続けてこれたのは、クリスチャンとしての人間理解。いつの時も聖書のみ言葉が支えてくれると語る。

現在一人暮らしの私自身、そして誰でも遅かれ早かれ一人暮らしになる身にとって、がんになったら、病気になったらどうしたらいいのか、切実な問題だ。まだ元気なうちに、自分自身どのような終末を迎えたいのか、きちんと考えねば・・・と考えさせられた講演会だった。

松山YWCA創立30周年祝会に参加して

難波郁江(広島YWCA会員)

2016年1月23日(土) 会場: 日本キリスト教団松山教会

2016年1月23日(土)松山YWCA創立30周年記念祝会に参加させていただきました。

松山YWCAは東雲学園の卒業生が中心になって創立され、東雲学園と共に歩んでこられたように私には映っています。設立にあたって元東雲学園の教師・渡辺春子さんが卒業生の方々の背中を押されたそうです。

私は、嬉しいことに2005年の創立20周年記念と今回の30周年の二度の記念の祝会に出席する機会を与えられ感謝しています。30年前の1985年の日本YWCA全国総会での設立の申請、承認の場面を見せていただいたので松山YWCAは広島YWCAにとっても私個人にとっても大変身近な存在なのです。

記念行事は日本キリスト教団松山教会が会場で、松山教会のトーンチャイムグループによる奏楽、元東雲学園の牧師・藤田基牧師による礼拝説教、日本YWCAの西原美香子総幹事による「真ん中に立つ」というメッセージは私自身のYWCAへの関わり方の原点を確認することができました。

松山YWCAの機関紙『まど』は、いつも開かれていることを意味しているそうです。30年間の活動の記録として立派な30周年記念誌が発行されました。会員数は少ないようですが松山での平和や環境問題に関わっておられる人たちのつながりを大切にされています。「YWCAは人なり」とよく言われますが、一人一人の賜物によって活動が支えられていることに感動し、感謝した一日でした。



日本YWCAの西原美香子総幹事の記念講演「真ん中に立つ～出会いをととして、エンパワーされる女性たち」



「ひろしま世界遺産航路」乗船体験レポート

森岡佑梨 (2015 ひろしまを考える旅 実行委員)

今年も「ひろしまを考える旅」は、2016年8月9日～11日に予定され、実行委員会では、企画作りが少しずつ進んでいる。今年初めて、原爆ドーム前から宮島港へ水上バスを利用する案が検討されており、昨年の実行委員として申し送りについてのリサーチを行ったので、以下の通り報告する。水上バスに乗ってみて、いいなと思った点は2点ある。1点目は、所要時間を短縮できるという点。原爆ドームから宮島桟橋まで45分で行くことが可能なので、オプションルツアーで水上バスを利用すれば、宮島での観光にゆとりが生まれる。宮島町屋通りの散策などをプラスし、これまでの『宮島』のイメージとは違う体験をするのもいいのではないかと思った。2点目は水上バスからの眺めを楽しめる点だ。水面から近い高さで外の景色を見るのは新鮮だった。乗船中にデッキに出て、海から広島風景を見ることは、とても楽しい体験になるだろう。

気になる点も二つある。まずは、料金が高いこと(大人片道2,000円)。もう一点は乗船中のモーターの音がかかなりうるさいため、静かなところが好きな人にとっては苦痛の時間になってしまいそうだ。

良い点も悪い点もあるが、乗ってみる価値は十分あると思う。私は、費用の点を考慮すれば、行きは水上バスで、帰りはフェリーとJR(片道590円、所要時間80分)を使うことを提案したい。

「こころの本棚」では、生きかたのヒントになるような本を紹介していきます。

中木風子(広島YWCA 賛助員)



認知症とそのケアを知ることからコミュニケーションについて考える

## 『ユマニチュード入門』

ユマニチュード…聞きなれない言葉です。認知症ケアの技法をさす、フランス語になります。なにやら、フランスから最先端の介護ケアの技法を紹介した本ようですが、この本の帯にはこう書かれています。「この本には常識しか書かれていません。しかし常識を徹底させると革命になります。」福祉や介護の特別な知識や技能がなくても、常識で認知症介護を行う、画期的な入門書です。

この本のオススメポイントは、『やさしさを技術に』しているところです。目の前に認知症の人がいる。そこで、どのようにコミュニケーションを取っていくのか、具体的に示されています。介護職の人でなくても、その様子をイメージしやすく描写されているのが魅力です。認知症について知ることや、介護について理解することは、人生で向き合わなければならない局面として、誰にでも訪れる可能性があります。知識として知っているだけで、心に余裕ができるのではないのでしょうか？また、本書から、今の介護の現場が抱える現実や苦勞もうかがい知ることができます。

ひとりの人間として、やさしさや思いやりを持って人に接したいと思うのは、自然なことですね。本書の91ページに、「マナーとして当たり前のこと」という段落があります。介護の現場だけでなく、コミュニケーションをとる上で、当たり前のことが書いてあります。この本を読み返すたびに、やさしさが実践できたかどうかを自分の心に問いかけています。



著者/本田 美和子  
イヴ ジネスト  
ロゼット マレスコッティ  
初版/2014.6.15  
発行/株式会社 医学書院  
価格/2,000円(税抜き)

おやつ  
を  
どうぞ

## テルちゃんのアイスクリーム

### 【材料】

かぼちゃ 300g 砂糖 140~150g 水 大さじ5  
生クリーム 200cc ブランデー 大さじ3  
バニラエッセンス 少々 卵黄 3個

### 【作りかた】

- ①皮をむいたかぼちゃ 300g を蒸して裏ごしする
- ②水大さじ5に砂糖 140~150g を煮溶かしてシロップを作る
- ③卵黄 3つにシロップを加え、よく混ぜる
- ④①のかぼちゃを加え、よく混ぜる
- ⑤別の器に生クリームを角が立つまであわ立てる
- ⑥④に⑤の生クリームをふんわりと混ぜながら加える
- ⑦バニラエッセンスと、ブランデーを加えて混ぜる
- ⑧3時間程度、冷凍庫で冷やし固める

このレシピは会員の戸田照枝さんに教えていただきました。クリスマスのおいで、おいしくいただきました。

★切り取ってレシピカードとしてご利用ください★

# 「キリスト教あいつえお」

足立「ずえ」

(広島YWCA会員・広島主城教会牧師)

第3回  
『い』②

3回目の今回は「い」の「石」がテーマでした。前回予告していましたね。イスラエルは聖書によると、優秀な民族だから神に選ばれたものではないとされています。彼らは家畜の羊を世話し、獣から羊を守る時に、幅広のベルト状のものに石をつつみ、それを手首で回し、飛ばして獣に当て撃退する簡単な武器を持っていました。

さて刑罰としての石が登場します。「石打の刑」が出てくる物語があります。ヨハネによる福音書8章2節〜11節です。

いきなり聖書の物語になりますが、イエスのことで、すでにイエスを快く思わない人びととの対立が生じていました。そのような中、イエスは朝早く神殿の境内に行かれると、民衆がイエスの周りに集まってきたので、座って話を始められました。するとそこへイエスと対立している律法学者\*1、ファリサイ派\*2の人々が騒動の現場を取り押さえられた女をイエスの前に連れてきました。彼らは女を真ん中に立たせイエスに言いました。古い決まりでは姦通をしたものは石で打ち殺せとあり、人々はこの女をどうすればいいかとイエスを試みました。イエスは何故か、地面にうづくまり指で何かを書きはじめられたので、訴えに来た人々はイライラして何度もイエスに尋ねました。イエスは身をおこし、あなたがたの中で、罪がないといえる人ならばこの女性に石を投げなさい」と言われたのです。沈黙がその場を支配しました。しばらくして年を重ねた者から手に持っていた石を捨てて、去って行きました。そして誰もいなくなりました。残ったのは女性とイエスだけです。

最後にイエスはその女性に言いました。わたしもあなたを罪に定めない。もう犯さないように」と。

「石」が処刑の道具として登場する物語です。ここでも出てきましたように、旧約聖書申命記 22章 22節には 男が人妻と寝ているところを見つげられたならば、女と寝た男もその女も共に殺して、イスラエルの中から悪を取り除かねばならない。」とあります。私たちはここで処刑の石打の刑の石は手のひらに入るぐらいのものを想像しますが、実際は両手で持ち上げるほどのものもあります。明確に悪を取り除くということですから、完全に処刑として殺すことを前提にしています。怖いですね。けれども、その石の「意志」とは逆に、イエスの「意志」は「寛容」でした。自分が絶対正しいと思うところに、人は落とし穴に落ち込んでしまいます。怖いですね。

律法学者\*1

聖書の世界には古く、神さまからいただいたと言われる律法（法律）がありました。その律法を専門に研究し、民衆に教え、民衆の中で小さな争い事などの決済をしていた人々のこと。彼らは他に職業を持っていました。

ファリサイ派\*2

「分離」という意味の言葉を自分たちの派の名前にしていた。律法を守らない民衆の人から自分たちを「分離した」という意味で使っていた。

## 4月からの拠点について

一般財団法人広島YWCA  
代表理事 半井康恵

仮会館として、広島主城教会の一部をお借りして2年6か月がたちました。会員の皆様とともに今後の方針、資金計画等について協議を進めておりますが、まだ、計画が練りあがっておりません。

資金、人財などを十分に考慮して、広島YWCAの活動目的を次世代に手渡せるよう、良い将来計画をつくるために、皆様とともに今しばらく、がんばってまいります。

広島主城教会様にもご協力いただき、現在の若草町仮会館を最大限活用して、当面2016年度中はこちらで継続して活動を行うことを12月の理事会で決定いたしました。2016年4月より、2017年3月まで、1年間の契約更新を会館貸主の広島主城教会様へお願いし、了解を得ましたことを、この紙面をもってお知らせいたします。

## 《感謝》2015年11月1日～2016年1月31日(敬称略)



(賛助費) 遠藤節子、荒川奈津江、浜根和子

(一般寄付) 学校法人女子学院中学校・高等学校宗教部、てのひら、小林洋子、福馬吟子、セシリア・ミュージックアカデミー、

女子学院JG会、西敦子、広島YWCA バザー実行委員会、野のユリの会、手づくりカフェ、手づくりカフェ陶芸の時間、難波郁江

ご協力に心よりお礼申し上げます。

## 《理事会・定例会》

10月 第4回 定時理事会(日時:2015年10月30日(金)18:30～21:00 会場:広島YWCA 仮会館)

議題:第一号 報告事項① 会計報告 ②地域貢献事業 ③各部会 ④中区分室プロジェクト ⑥夕張プロジェクト実行委員会 第二号 協議事項

2016年度 役員選考委員会の設置 第三号 仮会館の契約更新交渉 第四号 川越 厚さん講演会 第五号 YM/YW 合同祈禱週

議題に関し、報告、協議、決定を行った。

11月 第3回 定例会(日時:2015年11月18日(水)18:30～20:30 会場:広島YWCA 仮会館)

協議事項:①クリスマスバザー ③クリスマスのつどい ②クリスマス献金のお願い

議題に関し、報告、協議、決定を行った。

12月 第5回 定時理事会(日時:2015年12月14日(月)18:30～20:30 会場:広島YWCA 仮会館)

議題:第一号 報告事項① 会計報告 ②地域貢献事業 ③各部会 ④中区分室プロジェクト ⑤YM/YW 合同祈禱週(ふりかえり) 第二号 協議事項

2016年度役員選任について 第三号 広島主城教会仮会館契約更新 第四号 地域貢献事業 第五号 2016年度職員人事について

議題に関し、報告、協議、決定を行った。